

すくすく のびのび いきいき

令和6年2月 第42号 発行：赤穂市教育委員会 ☎0791-43-6857 FAX 0791-43-6895

震災を風化させない

平成7年1月17日午前5時46分に発生した阪神淡路大震災は、県内などに大きな被害をもたらしました。兵庫県は震災の経験と教訓を活かし、安心で安全な社会づくりを推進するため、この日を「ひょうご安全の日」と定めています。

自分の命は自分で守る！！

尾崎小学校では「自分の命は自分で守る」をテーマにした授業を行いました。

地震から身を守るための方法、新聞紙を使った災害時に使うことができる生活用品の作成、避難所での生活などを学ぶなかで、保護者から意見をもらうクラスもあり親子で防災について考えることができた防災参観日となりました。



(1年生の授業風景)

「災害時の食事」を考える 防災給食

地震に限らず、自然災害はいつ発生するかわかりません。そのため日々の備えは非常に重要です。平時より非常食等の食材に慣れておくことで、災害への適応力を養うこと、実際に防災食に触れ、非常時への備えの大切さを学ぶことを目的として、防災給食を提供しました。

給食を食べた児童等から、「非常時にこれが食べられたらうれしい」、「開けてすぐに食べられ

るから災害時に適しているのではないか」という防災食に対する感想や、「いつもの豚汁よりもおいしく感じた」といった普段の食事の大切さを学ぶことができたという意見をきくことができました。

「食」という身近な存在だからこそ、それを通じて学ぶことは多くあると思います。

学校給食センターは、これからも日々の「安全でおいしい給食」の提供はもちろんのこと、学校園と連携し食を通じた学びの機会「食育」を推進していきたいと考えています。

1月17日「防災給食」



(中学生1人分の分量)

保存と栄養面の両立ができる防災食
「救給カレー」
災害時等に炊き出しでもよく提供される
「豚汁」
長期保存できる食材を使った
「ひじきとツナのいために」

「2023 赤穂市民健康マラソン大会」

11月12日(日)「2023 赤穂市民健康マラソン大会」(主催：赤穂市体育協会)が赤穂城南緑地で開催され、一般の部(5km)、中学生の部(3km)、小学生の部(2km)、ファミリーの部(1km)、ファンランの部(1.5km)の各種目で714名のランナーが健脚を競いました。

これまでの「赤穂シティマラソン大会」と比べると小規模な大会ながら、参加者からは「アットホームな大会で周囲の応援も温かく、気持ちよく走ることができた」、「参加料は安いけど協賛企業の参加賞が豪華でびっくりした」などの喜びの声が寄せられました。

自らの体力に合わせて運動をすることは、心身の健康づくりや体力の増強に効果的です。これからも、体育協会をはじめスポーツ関係団体と連携しながら、多くの皆さまに運動機会の提供ができるよう努めてまいります。



5キロの部スタート

未来を翔る子どもたちへ！ 夢の野球グッズ贈呈

日本全国の子どもたちに感動を届けているメジャーリーガー大谷翔平選手から赤穂市内の小中学校にも「グローブ」が届きました。また、赤穂市少年野球連絡会からグローブと一緒に使ってほしいと軟式野球ボールの贈呈をいただきました。

「大谷選手からのメッセージ」

野球しようぜ！

西尾市とのスポーツ交流(8/26~27)

旧吉良町の頃から続く義士親善友好都市交流。愛知県西尾市とのスポーツ交流が、4年ぶりに再開しました。

今年は野球少年団、スポーツ関係者など28名が来穂し、レクリエーションや親善試合で両市の絆を深めました。

来年度は本市サッカー少年団が西尾市を訪問する予定です。



赤穂市スポーツクラブ 21 交流グラウンドゴルフ大会(11/18)

赤穂の天塩海浜スポーツセンターで開催したグラウンドゴルフ大会に市内10地区から180名が参加し、大変盛り上がった大会になりました。参加者の最高齢は94歳！

いつまでも元気にスポーツを楽しみたいですね！



トライやる・ウィーク

中学2年生が社会体験を通して、共に生きる心や感謝の心、働くことの大切さや厳しさを学び、将来の夢について考える機会である「トライやる・ウィーク」も今年で26年目。普段とは違った表情の生徒たちの姿を見ることができました。ご協力いただきました事業所の皆さま、ありがとうございました。

【 赤穂中学校 】

42カ所の事業所で体験をさせていただき、学校とは違った表情、姿を見ることができました。「何気なく利用していた事業所で、こんなにたくさん頑張っている人がいて、そのおかげで楽しく利用できていることがわかった。働いて少しでも誰かのためになっていると思うとすごく気持ちよかったです。」と働くことの素晴らしさを感じられたようです。



(株)主婦の店 赤穂店

【 赤穂西中学校 】

消防署では、自分の機敏な行動や声の大きさが、他人の生死にかかわることを知り、注意を受けながらの辛い訓練にも前向きに取り組む姿勢から生徒たちの成長が感じられました。また、教育機関やサービス業などの事業所では、「ありがとう」、「助かりました」と言われ、人に頼られることや感謝されることを実感できたようです。



赤穂市消防本部

【 赤穂東中学校 】

多くの事業所の方に受け入れを行っていただき、5日間の体験が終了しました。最初は緊張して動きがぎこちなかった生徒もいましたが、段々と表情も和らいでいき、最後には「楽しかった」、「もう一度行きたい」といった声が聞かれました。「大人への第一歩」を踏み出すことができた5日間でした。



赤穂市立尾崎保育所

【 坂越中学校 】

どの生徒も「働く」ことの意義やその責任の大きさ、充実感や達成感などをしっかりと「体験」することができたと思います。また、「勤労・奉仕」という社会行為のみならず、仕事に従事する方々が持っている誇りや使命感、挨拶や礼儀といった、人々が互いにより良い協力関係を築くための公共の精神も豊かに育むことができました。



アース製薬(株) 坂越工場

【 有年中学校 】

体験した生徒の感想を紹介します。『私は初めて会う人と話すことが苦手なので、最初はとても緊張しましたが、事業所の方々がやさしく、たくさん話しかけてくださったおかげで、通うのが楽しみになりました。トライやるを通して、人と関わる楽しさを学ぶことができました。この経験をこれからの生活に生かしていきたいと思います。』



ありなしファーム

令和6年 赤穂市二十歳のつどい

成人年齢は18歳に引き下げられましたが、大人になったことを自覚し、社会的に自立した一人の人間として自ら生き抜こうとする若者を祝い、励ますために20歳を迎える年度の方を対象に「赤穂市二十歳のつどい」を実施しています。今年は令和6年1月7日(日)に赤穂市文化会館赤穂化成ハートホールで開催しました。

新型コロナウイルス感染症が5類相当に変更されてからはじめての開催となり、371人の若人たちが華やかな振袖や真新しいスーツ姿で出席しました。

久しぶりに顔を合わせた友人たちと昔話や近況報告に花を咲かせ、楽しむ様子が見られました。

今年も開式前に二十歳のつどい実行委員会が作成した『恩師からのビデオレター』を上映しました。中学校時代にお世話になった先生方から激励のメッセージをいただき、身の引き締まる思いだったのではないのでしょうか。

1月1日に発生した能登半島地震への黙とうを行った後、式典では、教育長からの式辞、市長をはじめ来賓の方からお祝いの言葉をいただき、参加者は真剣なまなざしで耳を傾けました。また、2名の実行委員からこれまでの感謝の気持ちや未来に向かっての力強い決意が述べられました。



有政 かりん さん

抱負を述べる代表

服部 悠汰 さん

赤穂市立図書館からのお知らせ

問い合わせ先 電話：43-0275 FAX:43-6291

スマートフォン(スマホ)で 本を借りることができます！

利用者カードのかわりにスマホで「WEB利用者カード」を提示することで、本の貸出ができるようになりました。



自動貸出機を2台に増設し、 貸出コーナーを充実しました！

利用者自身で貸出処理を行うことができ、プライバシーにも配慮した自動貸出機を増設しました。タッチパネル式で簡単に操作を行うことができます。



※貸出以外は窓口までお越しください。

無線 LAN が利用できます！

無線 LAN でインターネットに接続できるサービスを提供しています。
※事前の利用登録が必要です。

電子図書館を充実！ 100種類以上の雑誌を見ることができます

図書館ホームページから24時間いつでもビジネス・医療・雑誌等の電子図書を楽しむことができます。
※事前の利用登録が必要です。

読書記録通帳をリニューアル！！

「読書記録通帳」にはこれまで借りた本のタイトルが銀行の通帳のように印字され、読んだ本の振り返りが簡単にできます。

春と秋の読書週間には「チャレンジ・ザ・読書」と「おすすめ本」の紹介のイベントも実施しています。

中学生以下は無料、高校生以上の一般の方は300円で利用することができます。